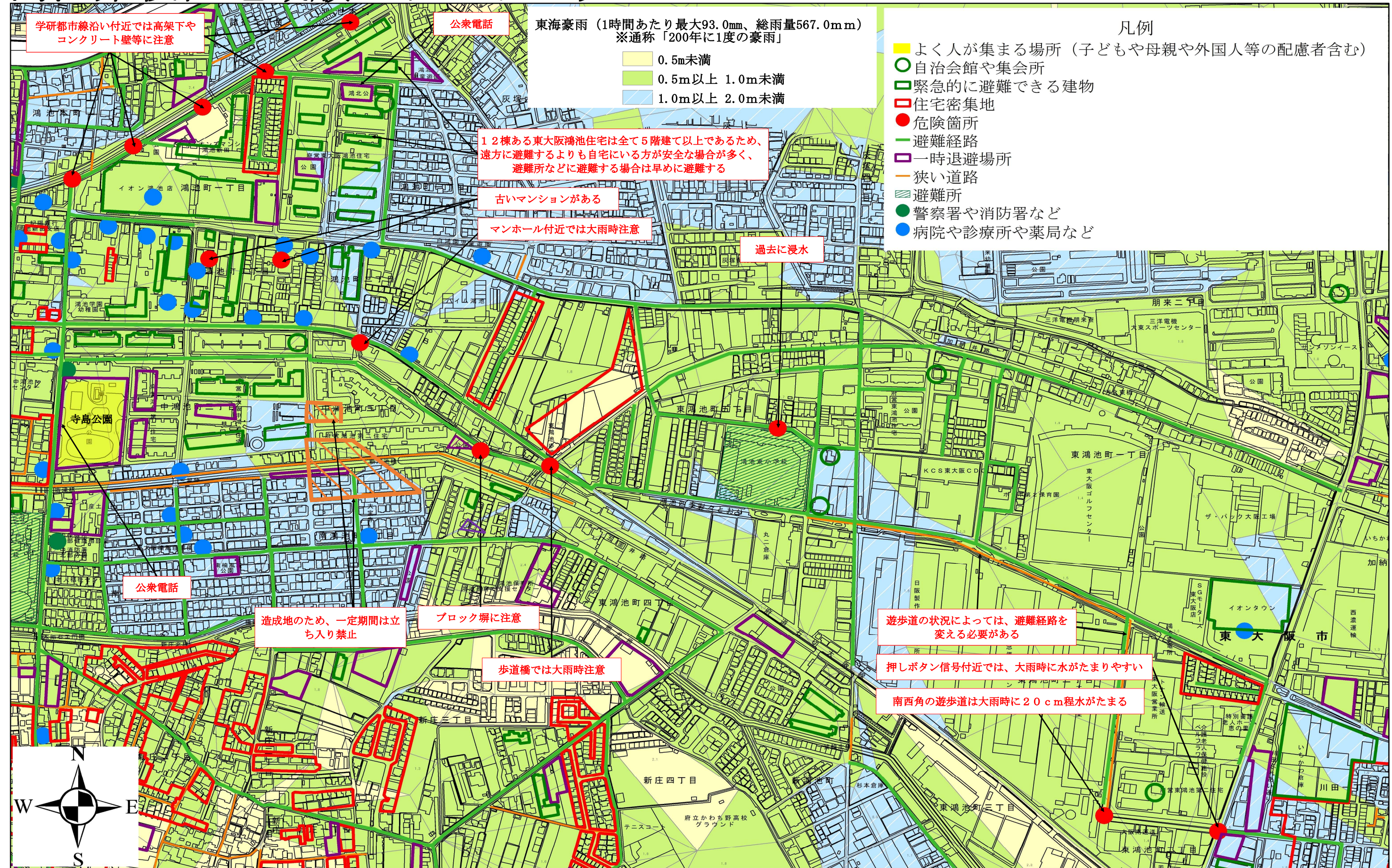
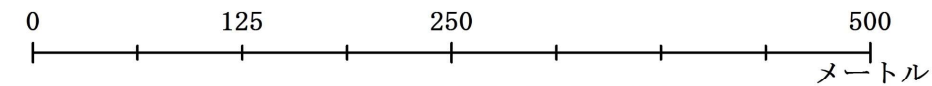


# 鴻池東校区地域版ハザードマップ



学研都市線沿い付近では高架下や  
コンクリート壁等に注意

公衆電話

東海豪雨 (1時間あたり最大93.0mm、総雨量567.0mm)  
※通称「200年に1度の豪雨」

- 0.5m未満
- 0.5m以上 1.0m未満
- 1.0m以上 2.0m未満

凡例

- よく人が集まる場所 (子どもや母親や外国人等の配慮者含む)
- 自治会館や集会所
- 緊急的に避難できる建物
- 住宅密集地
- 危険箇所
- 避難経路
- 一時退避場所
- 狭い道路
- 避難所
- 警察署や消防署など
- 病院や診療所や薬局など

12棟ある東大鴻池住宅は全て5階建て以上であるため、  
遠方に避難するよりも自宅にいる方が安全な場合が多く、  
避難所などに避難する場合は早めに避難する

古いマンションがある

マンホール付近では大雨時注意

過去に浸水

公衆電話

造成地のため、一定期間は立ち入り禁止

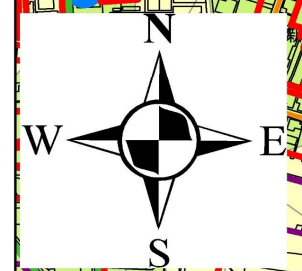
ブロック塀に注意

歩道橋では大雨時注意

遊歩道の状況によっては、避難経路を  
変える必要がある

押しボタン信号付近では、大雨時に水がたまりやすい

南西角の遊歩道は大雨時に20cm程水がたまる







地域版ハザードマップとは、自主防災会(自治会等の地域住民により結成された防災組織)が主体となって、ワークショップを重ねながら、過去の災害履歴や危険箇所、避難場所、災害時に役立つ資源等の情報を地図上に表示したものです。今後も修正等あれば、地域で情報共有していただき、地域版ハザードマップを活用してください。  
安全な避難場所(緊急的に避難できる場所等を含む)や避難経路を確認し、早めの避難ができるよう備えておきましょう。

### 災害に備えて地図面を確認しましょう!

#### 《大地震》

- 赤色で囲まれた地域(住宅密集地)は、大地震により火災が発生した場合、火の手が延焼し拡大するおそれのある地域です。
- 大地震が発生した際、紫色で囲まれた場所(一時退避場所)などの広い場所に逃げ、まず身の安全を確保しましょう。火災が発生している場合は、風向に注意して逃げましょう。

#### 《水害》

- 地図に示した「浸水の範囲」以外の場所でも、雨の降り方によっては浸水する恐れがあるので注意しましょう。
- テレビやラジオなどで雨量情報、警報等の気象情報を積極的に入手しましょう!

下記のウェブサイトにて、気象情報や台風情報などがチェックできます。

『おおさか防災ネット』

アドレス (<http://www.osaka-bousai.net/higashiosaka/index.html>)

『気象庁』

アドレス (<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

### 安全に避難しましょう!

#### 市から発令される避難情報

- ・【警戒レベル3】避難準備・高齢者等避難開始
- ・【警戒レベル4】避難勧告または避難指示(緊急) ※1
- ・【警戒レベル5】災害発生情報 ※2

#### 避難行動すべきタイミング



高齢者等は  
【警戒レベル3】で避難



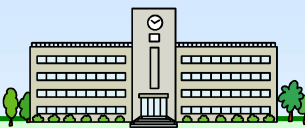
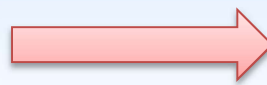
他の住民は  
【警戒レベル3】で避難準備  
【警戒レベル4】避難勧告で全員避難



地域住民

#### 避難行動パターン

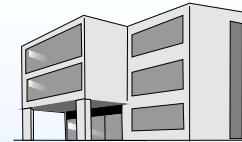
優先順位①  
:立退き避難



【指定避難所】

・鴻池東小学校  
(東大阪市東鴻池町 5-7-20)

優先順位②  
:指定避難所への移動がかえって危険であれば、より近隣の安全な場所への避難、建物内のより安全な場所へ避難する。



近隣の安全な場所  
(近隣の頑丈なマンション等)



建物内のより安全な場所  
(自宅の2階など、より高い所)

※1 【警戒レベル4】避難指示(緊急)は必ず発令されるものではありませんので、待たずして速やかに避難してください。  
※2 【警戒レベル5】は既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をしてください。

### 防災情報を収集しよう!

#### 市からの伝達方法

- ・エリアメール/緊急速報メール ・Facebook ・Twitter ・広報車
  - ・防災行政無線 ・データ放送(NHK) ・市ウェブサイト
  - ・おおさか防災ネット(防災情報メール) ・Lアラート ・BizFax
- 防災行政無線の放送内容が聞こえにくいときは・・・  
☎06-4309-3010  
で確認することができます。(放送後24時間以内)

#### 【メモ欄】

災害時の家族の集合場所や非常持ち出し品など、災害時に必要な情報をメモし、備えましょう。  
(例) 家族の集合場所・・・〇〇小学校のグラウンドなど  
非常持ち出し品・・・水、食糧、薬など